

●市民団体支援事業のご案内●

男女共同参画社会の実現に向けて活動している団体ともりおか女性センターの協働事業です。

団体名：もりおか女性の会

講話「盛岡女性のエンパワーメント30年
ー女性相談・学習・起業・震災復興支援などー」

日 時：11/21（木）13：30～16：00
会 場：プラザおでって 大会議室（プラザおでって3階）
参加費・定員：無料・先着50人
講 師：平賀 圭子さん（前もりおか女性センター長）
申込方法：電話・FAX（652-1826）にて受付中

団体名：エンパワーメント11（いわて）

「男女共同参画推進条例で私たちの生活はどう変わる？」

日 時：11/24（日）14：00～16：00
会 場：プラザおでって 大会議室（プラザおでって3階）
参加費・定員：無料・先着50人
内 容：①説明「盛岡市男女共同参画推進条例について」
②講演「男女共同参画推進条例の効果と市民の役割（仮）」
講 師：①盛岡市市民部市民協働推進課
②鈴木 秀洋さん（日本大学危機管理学部准教授）
申込方法：電話（661-4218）、Eメール
（empowerment.iwate@gmail.com）（11/17締切）

団体名：いわてアサーティブの会

「アサーティブファシリテーター養成講座」

日 時：12/15（日）10：00～15：30
会 場：プラザおでって 大会議室（プラザおでって3階）
参加費・対象：300円・コミュニケーションに関心のある方
講 師：高橋 静子さん（あきたAT研究会 会長）
申込方法：FAX（613-6650）、Eメール
（kanto.us-ry@olive.plala.or.jp）

団体名：男女共同参画読書会

「『ふだん着』で話そう、政治のこと」（仮）

日 時：1/19（日）午後（予定）
会 場：プラザおでって 大会議室（プラザおでって3階）
講 師：内藤 和美さん
（岩手大学男女共同参画推進室特任研究員）

団体名：戦中・戦後を語りつぐ会（いわて）

終了しました！

映像とトーク「青森空襲を語り継ぐ」

日 時：10/27（日）13：30～16：40
内 容：映像「禁じられた避難～青森空襲の悲劇」とトーク
講 師：今村 修さん（青森空襲を記録する会 会長）

団体名：BOUSAIネット盛岡

終了しました！

「マイ・タイムラインで『我が家の逃げ方』のプランを立てよう！」

日 時：10/29（火）10：00～15：00
内 容：浸水害・洪水と避難について
マイ・タイムライン作成ワークショップ
講 師：荒屋敷 武則さん（日本防災士会 岩手県支部理事）

もりおか女性センター （管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて）

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階
電話番号 （019）604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日～金曜日 9：00～21：30（土日祝 17：00まで）
休 館 日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 起業応援ルーム 芽でるネット

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって1階
電話番号 （019）624-3583 FAX 050-2003-5778
開館時間 月曜日～金曜日 10：00～17：00
休 館 日 土日祝日、毎月第2火曜日、年末年始



（バス）
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車
徒歩3分

※女性センターには、専用の駐車場はありません。
おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

● 女性相談

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。

	相談開設時間		
月	10:00	～	17:00
火	10:00	～	17:00
水	10:00	～	20:00
木	10:00	～	20:00
金	10:00	～	17:00



ひとひと
ー女と男、ともに参画する社会をめざしてー

もりおか女性センター

ニュースレター

もりおか女性センターは、
女性の自立と社会参画を支援するとともに
男女共同参画を推進する拠点です。

2019年11月

No. 81

学 ぶ

学習・研修の機会の場

出会う・力をつける

活動促進・交流の場

悩み・考える

女性相談

考え究める

調査・研究事業

知 る

情報提供・収集場所

発行：もりおか女性センター

イベント情報 なくそう！女性に対する暴力 2019 事業期間：11月8日（金）～25日（月）

～ひとりで悩まず、相談してください～

女性に対する暴力には、DV（ドメスティック・バイオレンス）やデートDV、性犯罪、売買春、人身取引、セクハラ、ストーカーなどさまざまあります。女性に対する暴力の根絶に向けて、もりおか女性センターでは、「なくそう！女性に対する暴力 2019」を上記日程で開催します。

期間中、市内 2 カ所で街頭啓発キャンペーンを展開します。

また、東北電力の鉄塔が 11/8～25 まで紫色にライトアップします。

街頭キャンペーン



～お気軽にご参加ください～

11/9（土）

12:00～16:00

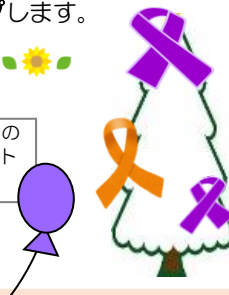
イオンモール盛岡南
（1 階センターコート横）

11/13（水）

11:30～13:30

ホットライン・サカナチョウ

THE BODY SHOP の
ハンドトリートメント
体験があります！



今年は、
オレンジリボン（子
ども虐待防止）との
コラボレーション

〈展示〉

- ・関連パネル展示
- ・関連ビデオ上映（11/14 まで）
- ・関連図書紹介コーナー
- ・パープルリボンキルト展示
- ・パープルリボンツリー展示（市役所、保健所にも設置）

もりおか女性センター
（プラザおでって 5 階）

- ・DV メッセージ T シャツ展示



※DV メッセージ T シャツ
「野の草の会」より寄贈

キズつけられるたび
自分のせいだと思っていた。
「なぜ…」
いつも心がさまよっていた。
いまはわかる。
キズつけられてもいい人
なんてどこにもいないのだと。

今年も暴力の根絶を呼びかけます！

フェスティバル 2019「映画祭」終了

今年も 10 月 4 日と 5 日の 2 日間、フェスティバルを開催しました。

今年は、「未来を花束にして」、「ガザの美容室」、「1000 人のピースウーマン」、「1 日 1 ドルで生活」の 4 作品を上映しました。また、映画の間には、前センター長で NPO 参画プランニング・いわて理事長の平賀圭子と現センター長の植田真弘のトークを行いました。映像とトークを通し、過去に女性たちが男女平等に向けてどう活動してきたか、また、日本とは全く異なる地域で暮らしている女性たちがどのような問題を抱えて生活しているかなど参加者の皆さんと学び考える時間となりました。

●トークの一部をご紹介します

平賀：皆さん、こんにち。映画の後に少しでも何かお伝えできればと思い、現センター長の植田さんと一緒に話をしたいと思います。「未来を花束にして」は、試写も含め 3 回観ていますが、観る度に一つひとつのセリフが胸に突き刺さる感じです。女性の参政権運動の歴史について、書物の上では読んでいますが画面で観たら凄く胸にこたえます。植田さんはイギリス経済が専門で女性の労働についても詳しいので、この映画の時代背景、社会背景についてお話しください。



植田：この映画で描かれている 20 世紀初頭のイギリス社会と、女性たちを取り巻いていた政治的・経済的状況についてお話しさせていただきます。ほぼ 17 世紀から 18 世紀にかけて羊毛工業が拡大し、羊の牧場を拡大するために農地を柵で囲い、農民を追い出す「囲い込み運動」が進行し、農民は都市部への移住を余儀なくされました。一方、蒸気機関を動力に綿工業がマンチェスター地区を中心に集積していきました。「産業革命」です。19 世紀を通じて綿工業は拡大し、囲い込みで都市部に移住した農民たちとその子どもたちが労働者として工場で雇われました。当時、女性と子どもが労働者の大半を占めていました。19 世紀の綿工業における男女間の賃金格差は 2 倍から 3 倍あり、1 日の労働時間も 12～18 時間に及んでいました。しかも、映画にあったように子の親権や所得は夫に帰属しており、女性たちを取り巻く社会・経済環境はきわめて劣悪でした。

ご覧になった方は、なんで女たちはこんなテロリストになっているんだと感じたと思うんですが、これは今申し上げたような背景があるからで、確かに

私も暴力的であることは必ずしも賛成できないですが、過激な戦術で当時の社会に抵抗せざるを得なかったということは若干我々は理解しなきゃいけないのかなと思います。

平賀：アメリカでも同じような運動があって、ただあまり過激なことではなく、アメリカのフェミニズムが台頭していく時には奴隷解放運動とセットになって出てくるんです。私は、ニューヨーク州にあるセネカフォールズというフェミニズム発祥の地と言われるところを訪ねたことがあります。最初、教会信者の女性 3 人で奴隷解放運動のデモに参加しようとしたら、女性は来なくていいと追い返され、奴隷が解放されるならどうして女性は解放されないんだろうという疑問から運動が始まり、街角に立って演説をして、賛同した約 300 人の女性が集まり決起集会をやった。その当時の教会が建て替えられフェミニズムの記念館になっています。私が感動したのは、そこに「3 人の賢い女性がいれば世界を変えられる」と書いてあったんです。そしてその運動が世界中に広がっていく。そのようにしてアメリカの女性たちの選挙権を獲得する道筋があったということを知りました。

植田：ご存知かと思いますがジェンダーギャップ指数、これは政治の分野、経済の分野、社会の分野に男女平等がどれくらい達成されているかという指数で、国際比較したものです。日本は 110 位です。ほとんど最下位です。例えば教育とか女性の健康とか、これはそこそこ高いのに何かを決定する場面には男ばかりで女がいないっていう、具体的にいうと例えば国会とか地方議会の議員さんの数とか会社の管理職ですね、何かを決める立場に女性の割合が少なすぎるからです。

実は昨年、画期的な法律が国会を通過しているんです。法律の名前はちょっと長いんですけど「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」ということで、議員は国会議員とか地方議員とか、必ず女性を一定の割合女性議員にしなければならないっていう法律なんです。ただこれはあまり強い拘束力はないんですけど、でもこの法律っていうのは私は非常に画期的だと思っています。女性議員が増えていくことによって色々な形で日本の社会も変わっていくのではないかと映画を観ながら感じました。

平賀：今回、この映画の他に男女共同参画について学べる映画を 3 作品上映します。

植田：映画っていうのは過去のこと、遠い国のこと、日本と全く違う環境のところでどういう生活しているのか、そういった空気感というのが伝わってきます。



事業のご案内

■ 東日本大震災から 8 年 震災経験を学び、防災・減災へつなげよう フォトボイス展示 & トークイベント

東日本大震災を経験した女性たちが撮影した写真とメッセージを展示します。トークイベントでは、その経験と意見を聞き、一緒に考えます。

＜フォトボイス展＞

日 時：11/22(金)～12/2(月)

会 場：もりおか女性センター 交流コーナー（プラザおでって 5 階）

＜トークイベント＞

日 時：11/23（土）13：00～15：00

会 場：プラザおでって 大会議室（プラザおでって 3 階）

対象・定員：テーマに関心のある方・30 人

受 講 料：無料

申込方法：10/18(金) 10時から、電話（604-3303）

または、グーグルフォームにて受付中

託 児：6カ月～未就学児（1人500円）*要予約

■ 男性講座

「フレキシブル（柔軟）に自分力UP ～交流分析を学びながら」

交流分析を通して自分自身と向き合い、周りの人との関わり方や柔軟に対応する力を高めるためのヒントを学びます。

日 時：11/22(金)・29(金) 18：30～20：30

会 場：もりおか女性センター 生活アトリエ（プラザおでって 5 階）

対象・定員：テーマに関心のある男性・15 人

受 講 料：無料

申込方法：10/18(金) 12時から、電話（604-3303）にて受付中

■ 非正規で働く独身女性のライフプラン

今不安に思っていることは何ですか？どんな働き方、生き方をしたいですか？なんとなく抱えている不安をそのままにしないで、情報収集から始めましょう。

第 1 回 「働く人の権利を守る法律や制度を知ろう」

第 2 回 「親の介護が必要になったら」

日 時：11/18(土)・25(土) 13：00～16：00

会 場：もりおか女性センター 生活アトリエ（プラザおでって 5 階）

対象・定員：非正規で働く独身女性（シングルマザーを除く）・10 人

受 講 料：無料

申込方法：12/4(水) 12時から、電話（604-3303）

または、グーグルフォームにて先着順に受付

■ 女性起業芽でる塾「実践編」

起業の基礎知識と心構えを学びます。自分のやりたいことをしっかりイメージして、具体的な一歩を踏み出しましょう。

日 時：11/16(土)・17(日) 10：00～15：00

会 場：もりおか女性センター 生活アトリエ（プラザおでって 5 階）

プラザおでって第 1、2 会議室（プラザおでって 3 階）

対象・定員：起業を考えている女性・10 人

受 講 料：1,000 円

申込方法：10/18(金)から受講申込書を Eメール、FAX、郵送、またはグーグルフォームにて受付中

託 児：6カ月～未就学児（1人1回800円）*要予約